

# 令和8年度 予算が決まりました

保険料率は健康保険は据え置き・介護保険は引き下げ

## 健康保険

### 令和8年度予算の状況

#### ▶▶▶ 経常収支は7,771万2千円の大幅な赤字

令和8年度は、被保険者数と平均標準報酬月額が前年度よりやや増加となり、主な収入である保険料は前年度比8,567万円増を見込んでいます。

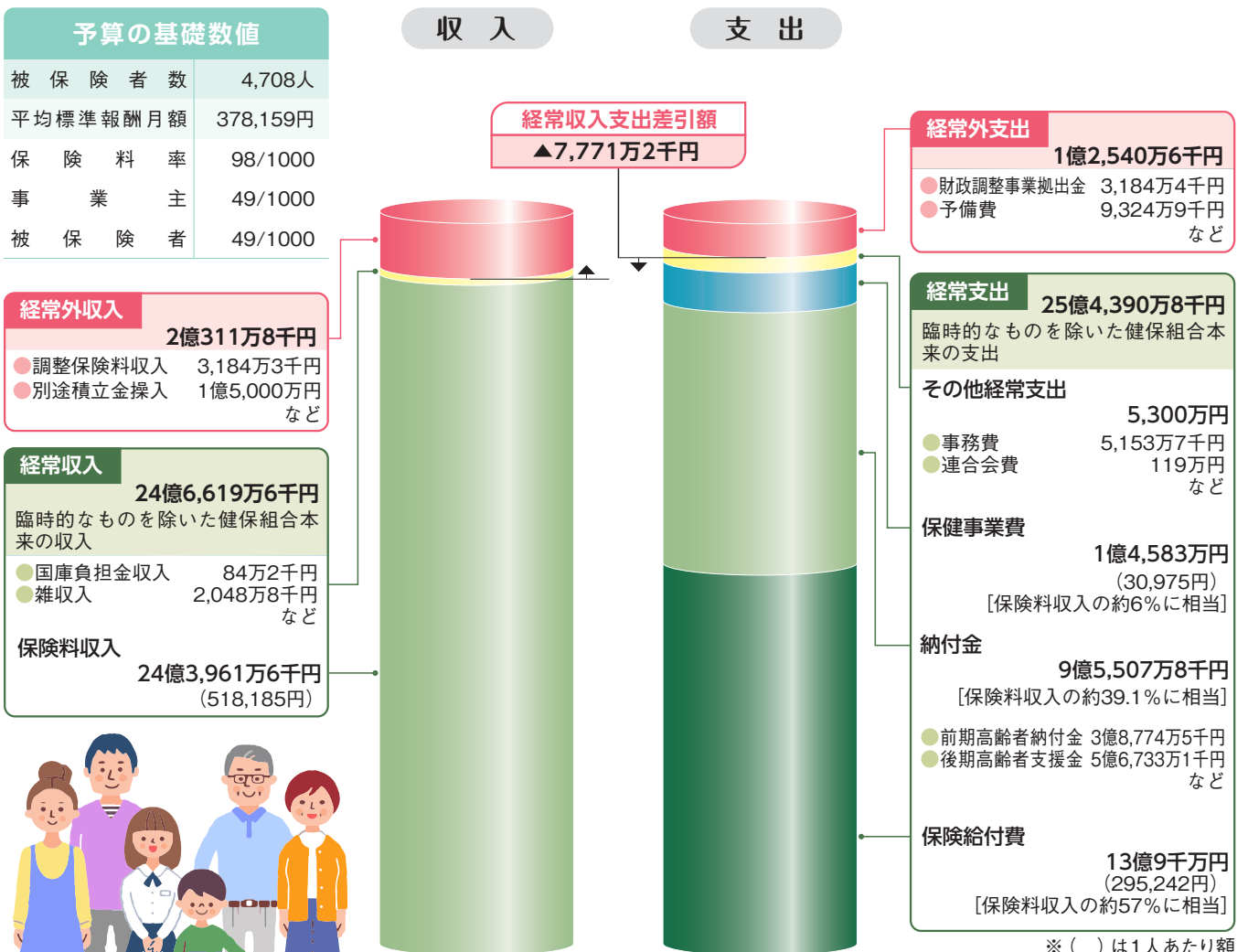
一方、支出においては診療報酬改定のアップ等により、保険給付費は前年度比9,774万円増を見込んでいます。高齢者医療制度にかかる納付金は「前期高齢者納付金」が前年度比2,421万円増、「後期高齢者支援金」が前年度比904万円減、トータルで前年度比1,517万円増を見込んでいます。

これらを差し引きした結果、経常収支では7,771万円

の赤字となりますが、別途積立金より1億5,000万円を繰り入れることにより収支の均衡を図っています。

健康保険組合では、引き続き、効果的な保健事業を展開してみなさまの健康づくりを積極的にサポートしてまいります。

みなさまも日頃から健康づくりに取り組んでいただくとともに、かかりつけ医を持つなど適正な受診やジェネリック医薬品の積極的な利用、そして健康管理に留意して、医療費の節減にご協力いただきますようお願いいたします。



# 介護保険

## 令和8年度予算の状況

### ▶▶▶ 介護保険料率は1.62%に引き下げ

介護サービス費にあてられる介護納付金は、前年度比222万円増加となる2億280万円を見込んでいます。

介護保険料率については、国が定める

「参考料率」に準じ、前年度から0.2%引き下げの1.62%とします。このため、介護保険収入は2億1,573万円を見込んでいます。

予算の基礎数値		収入		支出	
徴収対象第2号被保険者数	2,332人	科目	金額	科目	金額
平均標準報酬月額	411,574円	介護保険収入	2億1,573万4千円	介護納付金	2億279万8千円
保険料率	16.2/1000	雑収入	21万円	介護保険料還付金	1千円
事業主	8.1/1000			雑支出	1千円
被保険者	8.1/1000			予備費	1,314万4千円
		収入合計	2億1,594万4千円	支出合計	2億1,594万4千円

# 子ども・子育て支援金

## 令和8年度予算の状況

### ▶▶▶ 子ども・子育て支援金の徴収がはじまります

社会全体で子ども・子育て世帯を支援するため、令和8年4月分保険料（5月給与控除分）から、子ども・子育て支援金の徴収がはじまります。

医療保険制度に加入するすべての被保険者

が負担するもので、介護保険料と同様に、健康保険組合が代行して徴収を行います。

みなさまのご理解とご協力のほどよろしくをお願いします。

予算の基礎数値		収入		支出	
支援金率	2.3/1000	科目	金額	科目	金額
事業主	1.15/1000	子ども・子育て支援金収入	5,800万2千円	子ども・子育て支援納付金	5,096万8千円
被保険者	1.15/1000	一般勘定受入	1万1千円	子ども・子育て支援金還付金	1千円
				積立金	2千円
				雑支出	1千円
				予備費	704万1千円
		収入合計	5,801万3千円	支出合計	5,801万3千円

## 健保組合を取り巻く状況

### ▶▶▶ 現役世代の負担軽減と医療費の増加抑制は喫緊の課題

健康保険組合の財政は、高齢者医療への過重な拠出金負担の増加に加え、少子高齢化による現役世代の減少により、非常に厳しい状況が続いています。

健保連発表の「令和6年度決算見込と今後の財政見通しについて」によりますと、全国の健保組合の経常収支差引額は145億円の黒字と収支は回復しましたが、依然として全体の約半数の健保組合が赤字という厳しい状況

です。少子化が進む我が国では、昨年団塊の世代がすべて75歳以上となりました。2040年にかけてさらに高齢者人口が増え続けることが予想され、高齢者医療への納付金は今後も増え続けることが見込まれています。

当健康保険組合ではこのような社会の方向性に適切に対応しつつ、みなさまの健康管理・健康づくりを支える事業を推進してまいります。

先の組合会において、当健保組合の令和8年度予算と事業計画が可決・承認されましたので、その概要をお知らせします。